



# 文化博物館だより 第269号

2009年4月19日

みなさん、こんにちは。春季特別展も折り返し地点を過ぎ、次回展のご案内です。

## ● 郷土作家・<sup>まさいかずゆき</sup>正井和行

郷土作家シリーズ 没後10年 正井和行展 -月影さやかに-



《濤》

大分県立芸術会館所蔵

会期 5月16日(土)～6月21日(日) 月曜日休館

### 関連イベント

\* 特別講演会「正井和行 人と芸術」 6月13日(土) 午後2時  
講師：佐藤直司氏(大分県立芸術会館 副館長)

\* ギャラリートーク 5月23日(土)、6月6日(土) 各午後2時

\* ロビーコンサート 6月7日(日)午後2時  
うた：三好啓子氏 バイオリン：清原千景氏、清原久恵氏

明石市樽屋町に生まれた正井和行(昭和 43～平成 11)は、実兄や近所に住んでいた寺島紫明の影響を受け、日本画を志すようになります。関西学院中等部を経て、京都市立絵画専門学校に入学。卒業後は同校研究科に進学します。第15回帝展に入選するなど画才を認められますが、病気のため大分に転居して数年は絵筆を休め、療養します。戦後京都へ転居し、「青塔社」に参加。本格的な画業に励みます。本展では、これまであまり紹介されることのなかった郷土作家・正井和行の静謐な世界をご紹介します。

講演会のお申込みは 5月15日午後9時から受け付けます。ぜひお申込み下さいね。